

学食からアフリカ支援

県立大で取り組み

県立大（山口市桜島）の学生食堂で、学生らが考案した低カロリーで健康的なメニューを提供し、売り上げの一部をアフリカの子どもたちの給食費に充てるという取り組みが始まった。肥満や生活習慣病に悩む先進国と飢餓に苦しむ開発途上国の「食の不均衡」是正を目指した「TABLE FOR TWO（テーブル・フォー・ツー、TFT）」という活動。同大では、学生約30

学食考案 売り上げ一部寄付

人が4月にTFTのプロジェクトを始動させ、豆乳や野菜を使った「豆乳みそ煮込みうどん」を考案、地域の人を招いて試食会を開くなどしてきた。

今回は18日までの期間限定メニューで1食270円。日替わりでドリンクやデザートも販売し、1食20円（ドリンク、デザートは各10円）をNPO法人TFT事務局（東京）を通じて寄付する。初日の14日は予定した15食の2倍の30食が1時間足らずで完売した。

プロジェクト代表の同大国際文化学部2年、玉川佑香さん（20）は「TFT活動を広げるためにも、学外の人にも食べてほしい」と呼び掛けている。購入した同部2年の柳井美紀さん（20）は「おいしいし、気軽に支援ができる。ずっと続けてほしい」と話していた。



考案したメニューをPRする学生ら